



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol.115

仙南地域で脳卒中地域連携パスシステムの運用を開始

令和5年度第3回脳卒中地域連携パス会議が2024年3月13日にオンラインにて開催されました。講演の1つとして、みやぎ県南中核病院患者サポートセンター医療ソーシャルワーカー大村亜沙美様より、「当院の脳卒中地域連携パスについて」と題して講演いただきました。お話の中では、「脳卒中患者のリハビリ転院の流れ」に関して、従来のFAXによる情報伝達からMMWINへのアップロード情報を参照する方式へと切り替えることにより変化したことをわかりやすくご説明いただきました。また、今後の期待として、以下の3点をあげられました。

1. 「みやぎ脳卒中地域連携診療計画書」の記載を通して患者さんの治療の標準化、回復期から生活期のつながりや連携が、より密に、かつスムーズに行くこと
2. 転院当日には、MMWIN上で診療情報提供書、看護サマリ、リハビリサマリ、画像データをすべて参照できること（現状は、転院先と相談の上、持参いただいておりますが、今後はすべてMMWINに移行してペーパーレスを進めたい）
3. 紙運用と併用していますが、MMWIN脳卒中地域連携パスを運用することで、スムーズな転院につながり、在院日数の短縮化も図っていただけること

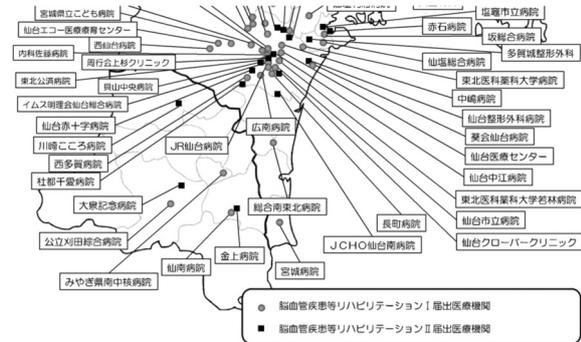
従来のリハビリ転院の流れ



MMWINリハビリ転院の流れ



仙南医療圏の連携医療機関（主な）



出典 施設基準の届出受理状況（令和3年7月1日現在）（東北厚生局）

仙南圏の展開と生活期施設への運用拡大

みやぎ県南中核病院による脳卒中地域連携パスの運用は、2023年12月に総合南東北病院、2024年4月には公立刈田総合病院、宮城病院へと3つの回復期病院との間で開始されました。また、同病院では大腿骨地域連携パスの運用も検討されており、さらに多くの医療機関と連携が進んでいくことが予想されます。当協議会事務局では、さらに生活期施設において利用者のケアプランの立案・見直し、治療期間中の参照など役立つ診療情報の参照ができるよう、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、診療所、歯科診療所、調剤薬局、訪問看護St、訪問リハ、デイサービス、介護保険施設など地域医療連携を担っている関係諸施設への導入提案を展開してまいります。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会
Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)
【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>
【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。